

学科名		学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 情報処理システム科		2	デジタルマーケティングリサーチ	
授業の種類		授業担当者	実務経験	
☒ 講義 ☐ 演習 ☒ 実習		山邊 安則	☒ 有 ☐ 無	
[実務経験歴]				
約10年間、本学および他の専門学校にて音楽制作の講師を務める。 その後、飲食店の経営や不動産業で宅地建物取引士に従事。 現在、飲食店の経営指導や電子書籍出版をおこなっている。				
単位数（授業の回数）		時間数☒	配当時期	必修・選択
1 単位 （ 15 回 ）		30 時間	☒ 前期 ☐ 後期 ☐ 通年	☐ 必修 ☒ 選択
[授業の目的・ねらい]				
企業分析や自己分析などに活用できる手法を学ぶことで、客観的な視点から自分自身や組織の強み・弱みを把握し、より適切な意思決定やキャリア設計につなげることを目的とします。また、論理的思考力や分析力の養成を通じて、ビジネス環境における課題発見・解決能力の向上も目指します。				
[授業全体の内容の概要]				
本授業では、企業分析および自己分析に活用できる各種手法を体系的に学びます。SWOT分析、PEST分析、3C分析などのフレームワークを用いて、実際の企業事例をもとに分析力を養うと同時に、自己理解を深めるワークにも取り組みます。これらを通じて、将来の進路選択や就職活動、キャリアデザインに活かせる実践的な力を身につけることを目的とします。学生は授業内でのディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションを通じて、多角的かつ論理的に物事を考える力を高				
[授業終了時の達成課題(到達目標)]				
多角的かつ論理的に物事を考える力の習得				
[準備学習の具体的な内容]				
毎授業ごとに復習の有無の確認を行い、講義・実習を進める。授業終了時には、講義内容の確認と次回の授業内容を説明し、復習・予習ができるようにする。また、長期休みの時は、課題を実施する。				
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]		
使用テキスト なし 参考文献 必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。 ・試験の点数は60点以上を合格点とする。 ・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。 評価基準 定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。		
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]				
1回	ガイダンス／授業の目的と概要☒授業の進め方、評価方法の説明			
2回	自己分析の意義と目的☒自己理解ワーク、ジャーナル記入			
3回	自己分析（価値観・強み・弱み）☒み診断ツールの活用			
4回	ライフラインチャートの作成☒自己の過去を振り返る			
5回	他者からのフィードバック☒ペアワーク：360度フィードバック			

6回	ロールモデルの分析 図れの人物の要素抽出
7回	自己PR作成ワーク① 己のストーリー構成
8回	自己PR作成ワーク②プレゼンとフィードバック
9回	企業分析の概要フレームワークの導入
10回	SWOT分析の理解と実践実在企業を分析
11回	PEST分析の理解と実践外部環境要因の抽出
12回	3C分析の理解と実践顧客・競合・自社視点の分析
13回	ビジネスモデルキャンバス入門事業構造の可視化
14回	分析結果のまとめ方 ポート構成と発表練習
15回	中間発表会分析プレゼンと相互評価